



2007.5.7 No.3

- 1. 学術講演会のお知らせ
- 2. 時間旅行展 3. 平成 18 年度の活動

山口市吉田 1677-1 時間学研究所  
<http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp>  
(最新の告知は上記ホームページをご覧ください)



学術講演会のお知らせ

- ・時間学研究所 学術講演会『時の文化を創る』のお知らせ

6月10日「時の記念日」に、下記の学術講演会を開催いたします。大学関係者はもちろん、一般の方もふるってご参加下さい。事前の予約や、参加費用等は不要です。

<開催日時・場所>

6月10日(日) 13:30-16:30 山口情報芸術センター2階・スタジオC (山口市中園町)

<プログラム>

挨拶 (13:30~13:40)

三木俊克 (山口大学学術研究担当副学長)

講演 (13:40~14:10)

「社会の時間と時間政策」 辻 正二 (山口大学時間学研究所長)

特別講演 (14:10~15:55)

「マヤ・インカの時間と現代の時間」 松本亮三 (東海大学文明研究所長)

「日本人はいつからせつちかちになったのか」 織田一朗 (時の研究者)

講演者によるパネルディスカッション (16:00~16:30)

「時の文化を創る」 司会: 井上慎一 (山口大学時間学研究所教授)



時間旅行展

2007年4月7日より、日本科学未来館(東京都江東区)にて「時間旅行展—TIME! TIME! TIME!」が開催されました(イベント「ランドセル・ミーティング」の一環として、5月14日までの開催)。本展示は、時間学研究所協力のもと2003年に公開された後、国内外の科学館等を歴訪し、世界で85万人の観覧者を記録しています。詳しい展示内容については、日本科学未来館のホームページ(<http://www.miraikan.jst.go.jp>)をご覧ください。

また、4月22日(日)には同会場にて、時間学研究所スタッフによるサイエンスカフェ「時間旅行に出かけよう!」が行なわれました。辻正二研究所長の挨拶に続き、藤沢健太准教授、鎌田祥仁准教授、井上慎一教授、一川誠准教授の順に、さまざまな科学分野における時間研究が紹介されました。カフェ形式ならではのリラックスした雰囲気の中、聴衆者との活発な意見交換もなされました。



平成 18 年度の活動

時間学研究所では、文理融合による新たな研究テーマの確立を目指し、さまざまなセミナー・研究活動を実施しています。平成18年度の活動は下記の通りです。

学術講演会

19年1月13日 山口大学時間学研究所 学術講演会『心と時間』(小串地区医学部霜仁会館)

渡辺義文 医学研究科教授「うつ病—養育環境とストレス脆弱性—」

河野荘子 名古屋大学教育発達科学研究科助教授「非行少年と時間」

平野 均 保健管理センター助教授「からだのリズムと心身の健康—冬季うつ病を中心に—」

中村彰治 医学研究科教授「ストレスと時間—脳に良いストレス、悪いストレス—」

時間学セミナー

18年7月7日 時間学セミナー#1 (山口地区総合研究棟)

井上慎一 時間学研究所教授「広中先生から聞いた話」

石田成則 経済学部教授「消費関数論争と経済学における時間」

中井 彰 医学研究科教授「発生サイクルの中のストレス遺伝子発現のタイミング」

青山拓央 時間学研究所講師「文理融合と唯物論」

中村彰治 医学研究科教授「鬱病と時間」

辻 正二 時間学研究所長「社会的時間の研究とその可能性」

鎌田祥仁 時間学研究所助教授「地質学・古生物学的時間」

脇條靖弘 人文学部教授「時間は出来事の原因となるか」

18年 8月 11日 時間学セミナー#2（小串地区医学部霜仁会館）

辻 正二 時間学研究所長「なぜ時間研究への関心が低いか：時間政策の貧困」

大村佳代 医学研究科助手・原田規章 医学研究科教授「社会医学と時間：疫学研究を例として」

森野正弘 東アジア研究科助教授「墮天使のもたらす時間」

18年 9月 14日 時間学セミナー#3（山口地区総合研究棟）

岩部浩三 人文学部教授「英語の進行形と単純形について」

寺地伸二 経済学部教授「経済学と時間：時間選好率をめぐって」

三池秀敏 工学部教授「新しい科学としての非平衡・非線形科学から見た時間と心の問題」

18年 11月 30日 時間学セミナー#4（山口地区総合研究棟）

藤沢健太 理学部助教授「あなたの時計、合っていますか？」

高橋征仁 人文学部助教授「携帯電話とインターネットは、青少年の性行動をどう変えたのか？」

18年 12月 22日 時間学研究所 特別セミナー（山口地区総合研究棟）

程肇 三菱化学生命科学研究所 時間ゲノム学研究グループリーダー「哺乳類時計遺伝子 Period の機能と発現制御機構」

19年 3月 9日 時間学研究所 特別セミナー（山口地区総合研究棟）

植村恒一郎 群馬県立女子大学教授「「死」をどのように考えるか ―― エピクロスのテーゼを中心に」

入不二基義 青山学院大学助教授「時間と論理と運命論」

#### 部門別セミナー

18年 5月 26日 応用時間学部門報告会（山口地区総合研究棟）

一川誠 理工学研究科助教授「使用者の知覚認知における時間制度を最適化するマン・マシンインターフェイスの開発」

松富直利 農学部教授「卵白アルブミンの熱安定型アルブミンへの転換とその生理的意義」

井上慎一 時間学研究所教授「生物時計と健康な生活」

[資料配付： 鶴田良介 医学研究科講師]

18年 8月 4日 理論的時間研究部門 基礎論セミナー#1（山口地区総合研究棟）

アラム・ジュマリ 人文学部助教授「アボリジニの神話と芸術から見る聖なる時間」

18年 10月 11日 理論的時間研究部門 基礎論セミナー#2（山口地区総合研究棟）

青山拓央 時間学研究所講師「自由意志の非実在性」

18年 11月 22日 社会的時間研究部門 研究例会#1（山口地区総合研究棟）

鍋山祥子 経済学部助教授「超高齢社会におけるワーク・ライフ・バランスの必要性」

19年 2月 8日 理論的時間研究部門セミナー（山口地区総合研究棟）

岡光一浩 山口大学名誉教授「クリムトを「誤読」する ―― 『接吻』『ユーディット I』に読む「時間」――」

19年 3月 3日 理論的時間研究部門 基礎論セミナー#3（山口地区総合研究棟）

脇條靖弘 人文学部教授「未来判断と相対主義 ―― プラトン『テアイテトス』178a-179bの意義」

上野修 大阪大学教授「出来事の時間―ドゥルーズの『意味の論理学』から」

#### その他の業績

18年 10月 井上慎一 時間学研究所教授が、時間学プロジェクト関連研究の成果を、『やわらかな生命の時間』（秀和システム）として刊行

18年 10月 青山拓央 時間学研究所講師が、時間学プロジェクト関連研究において、日本科学哲学会主催「石本賞」を受賞

18年 12月 一川誠 理工学研究科助教授／時間学研究所応用時間学部門長（現千葉大学）が、時間学プロジェクト関連研究の成果を、『大人になると、なぜ1年が短くなるのか?』（宝島社）として刊行

#### 山口街なか大学 連続講座「時間学」

平成 18年度前期 5回 辻正二 時間学研究所長／一川誠 理工学研究科助教授／鎌田祥仁 時間学研究所助教授／青山拓央 時間学研究所講師／井上慎一 時間学研究所教授

平成 18年度後期 5回 石田成則 経済学部教授／川崎勝 医学部助教授／森野正弘 東アジア研究科助教授／松野浩嗣 理工学研究科教授／星野晋 医学研究科講師